

課題等		詳細
全体に関連する事項	1 地域の機運醸成 担い手づくり ルート協議会の運営	<ul style="list-style-type: none"> 地域の機運醸成、意識醸成が必要 (①、④) サイクルステーション・サイクリストにやさしい宿登録への地域理解を進めたい (④) 来訪客の受入体制づくり、ルートを支える事業者の育成支援 (ガイド育成や増員、講習会等の開催、宿泊事業者、レンタサイクル事業者、自転車店等) が課題 (④、⑨) 協議会内の部会 (走行、受入、情報) 間の連携、役割分担が課題 (③) 予算が協議会メンバーからの会費だけであり、今後取り組みが拡大した場合、現在の予算のみで行うことは難しい (③)
	2 効果的な効果検証、整備	<ul style="list-style-type: none"> サイクリストが増えているか把握できず、効果的な調査方法や効果検証、経済波及効果の評価手法などをご教授いただきたい (⑦、⑧) サイクリスト数を把握しメリハリのある走行空間整備を行いたい (⑦)
走行環境に関する事項	3 維持管理 走行空間整備 ルートの見直し	<ul style="list-style-type: none"> 市町村管理区間の看板、路面表示は、各自治体の共通認識と設置に係る財源確保が課題 (②) 案内表示の整備や維持管理 (保守点検) 等の財源確保が課題 (⑤) 二段階右折が必要な交差点において局所的なルート見直しおよび走行空間の整備を検討 (⑥) 予算に限りがあり効率的な自転車走行空間の整備計画の策定が課題 (⑦)
受入環境に関する事項	4 公共交通機関や公共駐車場との連携	<ul style="list-style-type: none"> J Rでの輪行を進めたいが、収益性や運行本数等課題があり進まない (①)、公共交通との連携が進まない (④、⑤) サイクルバスの導入、輪行環境整備のための事業者の機運醸成、積載物にかかる事故・損失補償等をどのように対応すべきかが課題 (⑧) 事業者により自転車持ち込みの対応がバラバラのためルールの検討が必要 (⑨) 公共施設等を活用したサイクリスト用の駐車場整備を行いたい (⑧)
	5 多様なサイクリストの受入	<ul style="list-style-type: none"> 【レンタサイクル乗り捨て】 地域間の距離や料金收受を含めた仕組みや事業者の確保が課題 (①) 【手荷物輸送】 利用ニーズや輸送距離など地域条件による収益性が課題 (①) 【手荷物輸送】 交通事業者等との連携による観光MaaSの実現に向け実証実験を行いたいためアドバイスが欲しい (⑨) 【コンテンツ造成】 サイクルツーリズムのコンテンツで収益性を確保できるかが課題 (⑨)
情報発信に関する事項	6 広報活動、需要の掘り起こしについて	<ul style="list-style-type: none"> HPの管理運営方針や掲載項目、コンテンツ等の基本情報検討が必要 (②) インバウンドに向けた多言語化等の情報発信の仕方が課題 (④) 自転車を持っていない層や冬季サイクリングなどの需要を掘り起こすための広報活動が課題 (⑦)
その他	7 観光エリアの繁忙による課題	<ul style="list-style-type: none"> 観光客増加に伴う交通状況の悪化、有事の際の受入態勢の課題が大きい (⑤) 観光対応によりサイクルツーリズム活動に費やす時間が確保できない (⑤)

①きた北海道ルート、②石狩川流域圏ルート、③阿寒摩周釧路湿原ルート、④トカプチ400、⑤富良野美瑛サイクリングルート、⑥オホーツクサイクリングルート
⑦石狩北部・増毛サイクルルート、⑧羊蹄ニセコサイクルルート、⑨オロロンラインサイクルルート